

令和4年度

推薦Ⅰ 入学試験問題
学校教育コース 教育学専攻
(小論文)

注意事項

1. 「解答をはじめ」の合図があるまで、冊子を開かないこと。
2. 問題は全部で2問である。両方とも解答すること。
3. 受験番号は、解答用紙上の指定された箇所に必ず記入すること。すべての解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題用紙・解答用紙ともに回収するので、持ち帰らないこと。

問題 1 (配点 60)

「学校でできること、すべきこと」について書かれた以下の文（【出典】石井英真編著 流行に踊る日本の教育 東洋館出版社 2021）を読み、問題 1 の解答を「解答用紙（問題 1）」に記述して下さい。（出題箇所：P27～P29）

著作権の関係上，公開しません。

設問

16 行目の波線部『自分はどう生きるか』を考える教育について①『自分はどう生きるか』を考える教育』を簡潔に定義し、②これまでの学校生活で自分が体験した『自分はどう生きるか』を考える教育』の例を具体的に紹介し、③教師になったときに自分が実践したい『自分はどう生きるか』を考える教育』を提案してください。「解答用紙（問題 1）」の記述については、①、②、③それぞれ所定のスペースに記入すること。

問題2 (配点 40)

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の関係上，公開しません。

(多喜弘文・松岡亮二(2020)「新型コロナ禍におけるオンライン教育の機会の不平等－内閣府調査の個票データを用いた分析から－」※この結果は公立学校だけでなく私立学校も含まれる可能性がある。)

(出題箇所：プレスリリース資料)

著作権の関係上，公開しません。

図 世帯収入とオンライン教育の受講割合 (%)

設問

公立学校は、ネット環境などが整っていない家庭に配慮し、オンライン授業を実施しなかったのに対し、収入のある家庭はよりオンライン教育を受けているという結果となっている。

この結果をふまえてあなたは、公立学校の教員として、今後また休校などになった場合、オンライン授業を実施すべきだと考えるか、あるいは実施しない方がよいと考えるか、両者の長所短所をふまえながら、意見を述べよ。解答用紙(問題2)に記述せよ。

解答用紙（問題 1）

受験番号	番
------	---

問題 1 解答欄

①

②

③

